

(別紙3)

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	良創夢発達支援ルーム らいく幸袋店（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	R6年12月1日 ～ R7年3月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	R6年12月1日 ～ R6年12月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の子どもに応じたサービス内容の提供	一人一人に合わせた活動を設定しています。本人の要望を交えながら、活動内容を設定し本人が同意して活動を提供することを意識しています。	一人一人に合わせることに、必要なことを整理して活動を提供したいと思います。スタッフ間での提供内容、特に目的や意図に関しての相違がないように情報共有を密に行いたいと思います。
2	十分な療育スペース、人員配置体制	ダイナミックに活動できるようにスペースは十分に確保しています。一人でプレイルームを使用することで幅広い活動が提供可能となります。運動活動では1人の子どもに対して、スタッフ2名で対応し、安全面、内容の充実を図っています。	スペースは確保していますが、活動内容によっては実施困難な内容もありますので、店舗の施設だけではない環境設定も今後検討していきたいと思っています。

3	サービス提供内容の保護者へのフィードバック	保護者と一緒に通所されている場合には担当スタッフより活動内容や本人の状況を説明することを基本としています。可能な限り活動場面を見学頂き、本人の状況の共有を行なっています。送迎での利用の保護者の方には毎回の利用状況をアプリを使用して報告し、定期的に対面での説明を行う機会を設けています。	保護者の方からの相談や現状の共有が行えるように時間の確保が課題です。夕方の時間で次の利用が控えている場合には十分な時間が確保できない場合もあり、保護者との関わりを持てる時間の確保を今後努めていきたいと思っています。
---	-----------------------	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	提供内容の充実（質の担保） 子どもの生活全般（食事、更衣、集団活動）への関わりが持ちにく	本人の評価（理解）をしてから活動内容の設定は行なっていますが、更に深く理解することを目指したいと思っています。短い、限定的な関わりになりますので食事場面等への介入は模擬的な内容になります。	子どもに必要、適切な内容は何かを常にスタッフで協議・共有して、適切なサービス提供を今後も目指したいと思っています。
2	地域での活動への参加	施設内の活動のみを限定的に提供しています。個別ということから、施設外（地域）での活動提供が難しい状況があります。	地域の財源を把握して、子どもにより良いサービス提供ができることを検討したいと思っています。提供出来る内容に対して柔軟に捉え、提供内容を幅広く、様々な視点で検討していきたいと思っています。
3	利用調整が難しい	1時間に2名までのお受け入れになりますので、お休みされた場合に振替を提案出来る日時が少ないです。また、保護者の方に送迎をお願いしていますので、保護者の方の都合と店舗空き状況が合致しないと調整が難しいです。	利用予定を管理し、空き枠が出た際にはスタッフ全体で共有します。利用日時の変更に関しての相談時に、どのスタッフでも空き枠を適宜案内ができる体制を整えます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 良創夢発達支援ルーム らいく幸袋店

公表日 R7年4月 1日

利用児童数 28

回収数 18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1				運動ができスペースを広く確保しているため、小学生以上のお子様でも十分に動くことができます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18					今後も適切な配置数で取り組みたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1		1		外の階段には滑り止めをつけ、施設内では極力段差を減らし、らいく内ではエッジガードをしております
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18					毎日清掃を行い、清潔な環境を保っています
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					今後も理解すること、専門性を持った内容が提供出来るように努めたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1		2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					お子様1人1人に合わせたプランをスタッフが考案しております。相談内容に応じてその都度プランに反映しております
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			2 回答無し1		児童発達支援計画書は専門のものが作成しております
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					放課後等デイサービス計画に沿ってセッションを考えております
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2				遊びのルールや難易度を変えることで子どもたちが毎回楽しめるように工夫しております
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	6	5	・個人の活動をメインにしているので他の子どもとの活動はなくてもいいと思っている。 ・今まで通った中でほかの子どもとの活動はほぼないと思う。	現在交流と一緒に活動する機会を設けておりません
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					契約時に必ず説明を行っております
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16			2		支援終了後必ずフィードバックを行っております
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	5	2	5 回答無し1	・家族参加型の支援プログラムへの参加をやることがない。	相談があった際にアドバイスや自宅での対応を伝えています。研修等がある時は掲示板にて張り出しています
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17			1		支援終了後のフィードバックや連絡があった際に子どもの状況を共有しています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	3		1	・特に困ったこと状況になったことがないので助言等の支援が分からない。	相談があった際にアドバイスや自宅での対応を伝えています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	8	3		現在保護者会等は開催しておりません
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1		1		相談があった際はすぐに対応できるように体制を整えております

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16			2	・相談しやすいです	LINE等のSNSや電話対応等で営業中はいつでも連絡が取れるようにしています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	4		7	・本日、SNS（インスタ）があることを知りました	Instagramにて季節の製作や行事が行われたときは投稿しております。自己評価の結果はホームページにて掲載しております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			2		必要な連携時以外は持ち出さないように徹底しております
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2	3	4		各種マニュアルを作成し、待合室にて掲示しております
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	4	4	4	・子どもを巻き込んだ訓練はないように思う	個別療育のため1人1人の訓練を行うことは難しいですが8月と12月に訓練を行っております。時期が来ましたら掲示板にてお知らせしております
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15		1	2		安全は十分に気を付けて支援を行っております
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	3	1	4 回答無し 1	安全に留意してかと同を行ってもらっているので事故にあったことがなかった。	事故等が発生したときは速やかに連絡できる体制を整えております
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18					これからも安心して通所できるようにスタッフ一同精進してまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	3			・通所日を楽しみにしているようです。ありがとうございます。 ・1人で行くよりもお兄ちゃんで行きたい！という願望があるので日による。	子どもたちが楽しく療育を受けられるようにセッションを考えております
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				・明るい雰囲気、居心地がよいです。下の子にも優しく声をかけてくださいます。	これからも満足していただけるようにスタッフ一同精進してまいります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 R7年4月1日				
良創夢発達支援ルーム らいく幸袋店						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		ブレイルームと個室どちらも十分なスペースを確保できています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		配置数、専門性ともに適切であります	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		外の階段には滑り止めをつけ、施設内では極力段差を減らし、らいいく内ではエッジガード等をしております	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃を行い、清潔な環境を保っています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別療育のため常に部屋の空気がございます	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	半年ごとに目標を設定し、振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に1度アンケートを実施し、保護者の意見要望等を把握し、業務の改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月に一度職員会議を行っています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		現在第三者による外部評価を行っておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	研修等のお知らせは見える場所に掲示しております	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	専門の者が作成し、保護者に伝えてあります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントを必ず行い、経過とともに計画の作成を行っています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		放課後等デイサービス計画書は専門の者が作成し、職員間で確認を行っています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		放課後等デイサービス計画をもとに支援内容を決めております	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		適切なアセスメントツールを使用しています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	専門の者が作成し、課題となる項目の設定、それに対する具体的な支援内容を設定しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	基本的には個々で立案を行っていますが必要に応じて職員全体で立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		遊びのルールや難易度を変えることで子どもたちが毎回楽しめるように工夫しております	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別療育のため個別での活動がメインになりますが年に数回程度小集団で活動する場面を設けています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	メインで全体を進める人とその手伝いの人で分かれて支援を行っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後、気づいたことや、保護者からの相談があったときは共有しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援終了後、様子等を記録することを徹底しております	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		3か月に1度モニタリングを行い、計画を見直しています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		担当者会議には1番理解しているスタッフが参加しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	連携できる体制を整えています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		地域の発達支援センターとの連携は行っていますが研修等は設けていません
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		現在、他事業所の子どもとの交流、活動する機会を設けておりません
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		支援終了後のフィードバックや連絡があった際に子どもの状況を共有しています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	相談があった際にアドバイスや自宅での対応を伝えています。研修等がある時は掲示板にて張り出しています	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に必ず説明を行っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		契約する際、説明時に保護者からの意見を聞き、修正または反映しています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		契約時に必ず説明を行っています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談があった際にアドバイスや自宅での対応を伝えています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5		現在保護者会等は開催しておりません
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情があった際は管理者または担当のものが対応できるよう体制を整えています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	季節の製作や行事を行った際はインスタグラムにて様子を投稿しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		必要な連携時以外は持ち出さないように徹底しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		LINE等のSNSや電話対応等で営業中はいつでも連絡が取れるようにしています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		そのような取り組みは行っておりません
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを作成し、待合室に手掲示しております	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		マニュアルを作成し、それに沿って8月と12月に訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		見学に来られた時または契約時に確認を行っています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	事業所内で飲食を提供することはありませんがクッキングを行う際は事前に必ず確認を行っています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		毎年研修は行っており、マニュアルを作成し、職員間で共有しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		マニュアル等を作成し、待合室にて掲示しています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットが起きた時は記録し、共有できる体制を作ってます	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修は行っていないが、マニュアルを作成し、職員間で共有しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		マニュアルを作成し、職員間で共有しています。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	良創夢発達支援ルーム らいく幸袋店（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	R6年12月1日 ～ R7年3月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	R6年12月1日 ～ R6年12月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月20日			

分

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人の子どもに応じたサービス内容の提供	一人一人に合わせた活動を設定しています。本人の要望を交えながら、活動内容を設定し本人が同意して活動を提供することを意識しています。	一人一人に合わせることに、必要なことを整理して活動を提供したいと思います。スタッフ間での提供内容、特に目的や意図に関しての相違がないように情報共有を密に行いたいと思います。
2	十分な療育スペース、人員配置体制	ダイナミックに活動できるようにスペースは十分に確保しています。一人でプレイルームを使用することで幅広い活動が提供可能となります。運動活動では1人の子どもに対して、スタッフ2名で対応し、安全面、内容の充実を図っています。	スペースは確保していますが、活動内容によっては実施困難な内容もありますので、店舗の施設だけではない環境設定も今後検討していきたいと思っています。

3	サービス提供内容の保護者へのフィードバック	保護者と一緒に通所されている場合には担当スタッフより活動内容や本人の状況を説明することを基本としています。可能な限り活動場面を見学頂き、本人の状況の共有を行なっています。送迎での利用の保護者の方には毎回の利用状況をアプリを使用して報告し、定期的に対面での説明を行う機会を設けています。	保護者の方からの相談や現状の共有が行えるように時間の確保が課題です。夕方の時間で次の利用が控えている場合には十分な時間が確保できない場合もあり、保護者との関わりを持てる時間の確保を今後努めていきたいと思っています。
---	-----------------------	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	提供内容の充実（質の担保） 子どもの生活全般（食事、更衣、集団活動）への関わりが持ちにくく	本人の評価（理解）をしてから活動内容の設定は行なっていますが、更に深く理解することを目指したいと思っています。短い、限定的な関わりになりますので食事場面等への介入は模擬的な内容になります。	子どもに必要な、適切な内容は何かを常にスタッフで協議・共有して、適切なサービス提供を今後も目指したいと思っています。
2	地域での活動への参加	施設内の活動のみを限定的に提供しています。個別ということから、施設外（地域）での活動提供が難しい状況があります。	地域の財源を把握して、子どもにより良いサービス提供ができることを検討したいと思っています。提供出来る内容に対して柔軟に捉え、提供内容を幅広く、様々な視点で検討していきたいと思っています。
3	利用調整が難しい	1時間に2名までのお受け入れになりますので、お休みされた場合に振替を提案出来る日時が少ないです。また、保護者の方に送迎をお願いしていますので、保護者の方の都合と店舗空き状況が合致しないと調整が難しいです。	利用予定を管理し、空き枠が出た際にはスタッフ全体で共有します。利用日時の変更に関しての相談時に、どのスタッフでも空き枠を適宜案内ができる体制を整えます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		発達支援ルーム らいく幸袋店		公表日		R7年 4月1日		利用児童数		9		回収数 7	
		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応					
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					運動ができスペースを広く確保しているため、小学生以上のお子様でも十分に動くことができます					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1		1		配置数、専門性ともに適切であります					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					外の階段には滑り止めをつけ、施設内では極力段差を減らし、らいく内ではエッジガードをしております					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					毎日清掃を行い、清潔な環境を保っています					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7										
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7										
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					お子様1人1人に合わせたプランをスタッフが考案しております。相談内容に応じてその都度プランに反映しております					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					児童発達支援計画書は専門のものが作成しております					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					児童発達支援計画に沿って支援内容を考えております					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1				遊びのルールや難易度を変えることで子どもたちが毎回来しめるように工夫しております					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	1	1		送迎で来られるお子様同士で活動することはありますが基本的には交流や活動する機会を設けておりません					
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					契約時に必ず説明を行っております					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					支援終了後必ずフィードバックを行っております					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	3	1	1		相談があった際にアドバイスや自宅での対応を伝えています。研修等がある時は掲示板にて張り出しています					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7					支援終了後のフィードバックや連絡があった際に子どもの状況を共有しています					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	2				相談があった際にアドバイスや自宅での対応を伝えています					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7										
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	2	2		現在保護者会等は開催しておりません					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	1		1		相談があった際はすぐに対応できるように体制を整えています					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	1			LINE等のSNSや電話対応等で営業中はいつでも連絡が取れるようにしています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	3			Instagramにて季節の製作や行事が行われたときは投稿しております。自己評価の結果はホームページにて掲載しております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7				必要な連携時以外は持ち出さないように徹底しております
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		2	各種マニュアルを作成し、待合室にて掲示しております
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1		3	避難口の確認は行いますが訓練等は放課後デイスサービスでのみ行っております
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7				安全は十分に気を付けて支援を行っております
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1			事故等が発生したときは速やかに連絡できる体制を整えております
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7				これからも安心して通所できるようにスタッフ一同精進してまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	1			子どもたちが楽しく療育を受けられるようにセッションを考えております
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				これからも満足していただけるようにスタッフ一同精進してまいります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
発達支援ルーム らいく幸袋店		R7年 4月1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		ブレイルームと個室どちらも十分なスペースを確保できています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		配置数、専門性ともに適切であります	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		外の階段には滑り止めをつけ、施設内では極力段差を減らし、らくく内ではエッジガード等をしております	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃を行い、清潔な環境を保っています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別療育のため常に部屋の空気がございます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		半年ごとに目標を設定し、振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	年に1度アンケートを実施し、保護者の意見要望等を把握し、業務の改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月に一度職員会議を行っています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		現在第三者による外部評価を行っておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	研修等のお知らせは見える場所に掲示しております	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		専門の者が作成し、保護者に伝えています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		アセスメントを必ず行い、経過とともに計画の作成を行っています	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童発達支援計画書は専門の者が作成し、職員間で確認を行っています	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		児童発達支援計画をもとに支援内容を決めています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		適切なアセスメントツールを使用しています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		専門の者が作成し、課題となる項目の設定、それに対する具体的な支援内容を設定しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	基本的には個々で立案を行っていますが必要に応じて職員全体で立案しています。	全体共有する機会を個別支援会議にて行い共有していきたいと思います。

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		遊びのルールや難易度を変えることで子どもたちが毎回楽しめるように工夫しております	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別療育のため個別での活動がメインになりますが年に数回程度小集団で活動する場面を設けています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	メインで全体を進める人とその手伝いの人で分かれて支援を行っています	事前の打ち合わせ内容を確認に行えるように調整していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後、気づいたことや、保護者からの相談があったときは共有しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援終了後、様子等を記録することを徹底しております	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		3か月に1度モニタリングを行い、計画を見直しています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		担当者会議には1番理解しているスタッフが参加しています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	連携できる体制を整えています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	併行利用や移行を行う際には事前に情報共有を行っています	担当者者会議の中で情報共有を行い、スタッフ間での情報共有を強化していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		必要に応じて資料にまとも保護者に渡しています	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			地域の発達支援センターとに連携は行っています	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		現在、他事業所の子どもの交流、活動する機会を設けておりません
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		支援終了後のフィードバックや連絡があった際に子どもの状況を共有しています	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	相談があった際にアドバイスや自宅での対応を伝えています。研修等がある時は掲示板にて張り出しています	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に必ず説明を行っています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		契約する際、説明時に保護者からの意見を聞き、修正または反映しています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		契約時に必ず説明を行っています	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談があった際にアドバイスや自宅での対応を伝えています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		現在保護者会等は開催しておりません
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		担当のものが対応できるよう体制を整えています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	季節の製作や行事を行った際はインスタグラムにて様子を投稿しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		必要な連携時以外は持ち出さないように徹底しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		LINE等のSNSや電話対応等で営業中はいつでも連絡が取れるようにしています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		そのような取り組みは行っておりません
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを作成し、待合室に手掲示しております	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			避難口の確認のみを行いました但し訓練は放課後等デイサービスでのみ行っています
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		見学に来られた時または契約時に確認を行っています	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	事業所内で飲食を提供することはありませんがクッキングを行う際は事前に必ず確認を行っています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		研修は行っていますが、マニュアルを作成し、職員間で共有しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		マニュアル等を作成し、待合室にて掲示しています	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットが起きた時は記録し、共有できる体制を作っています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	毎年研修は行い、マニュアルを作成し、職員間で共有しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		マニュアルを作成し、職員間で共有しています。	